



**適切な空き家対策で  
暮らしの安全性確保を**



本山 正人(みらい)

**問**／適切に管理されず放置された空き家等は、防災等の面で近隣に影響を及ぼす。町内会と情報を共有し、注視するために連携が必要ではないか。特に、老朽した空き家等については、屋根雪により倒壊の危険が増すが、どのように対処するのか。また、県道や市道沿いの特定空き家等は、歩行者の危険が予測される場合、県と市の垣根を超えた連携強化が必要と考えるがどうか。

**答**／所有者に対し、適正に管理するよう助言、指導の強化に努めている。市や町内会からの再三の要請に応じない場合等、第三者に危害が及ぶ可能性などを総合的に判断した上で、道路管理者等と連携した保全措置を実施するほか、条例に基づき屋根雪下ろしを実施する必要がある。

**浄水場の適切な水質管理を**

**問**／切越浄水場から供給される水道水の異臭事案について、原因と今後の対策を聞きたい。

**答**／令和4年7月上旬から中旬にかけて水道水からカビや墨汁のような臭いが発生し、ご迷惑をおかけした。6月の少雨や高温により原水の水温が上昇し、藻類等の微生物の繁殖が盛んになり、水道水に影響が出た。今後、同様の事案が発生した場合に備え、迅速に対応する設備の設置を予定するとともに、原水の水質の変化にも十分意を用いながら安全な供給に努めていく。



**女性がイキイキ輝ける  
社会の実現に向けて！  
ストラットン恵美子(久比岐野)**



高山 ゆう子(みらい)

**問**／女性の月経随伴症状に関する市の対応は。  
**答**／人に話すことをためらいがちな健康上の悩みに対し、適切かつ丁寧な相談支援を行う。  
**問**／月経困難症について、小・中学校での正しい知識の教育や相談しやすい環境整備が必要と考えるがどうか。

**答**／児童生徒へ正しい知識の教育を進めるとともに、相談しやすい環境整備に努める。

**問**／女性の生涯を通じた健康支援や、昨今の社会問題である「生理の貧困」といった課題等に取り組むため、分野横断的機能を強化する考えは。

**答**／「健康相談」や「女性相談」、「労働相談」等、各種窓口を開設し、専門職等が対応している男女共同参画センターでは、県で取り組む「にいがたRibbon net」の趣旨に賛同し、生理用品の配布を行っている。

**市内の海岸からごみを減らし景観を守ろう！**

**問**／海岸周辺のごみ問題についての見解は。

**答**／引き続き、市民の海岸清掃活動を支援し、関係機関と連携した清掃活動やパトロール、市民への環境問題の普及啓発、市のできる取組みを着実に進めるとともに、他の自治体の取組み等も研究していく。



環境美化活動によるごみ



**子宮頸がんワクチン  
接種に丁寧な説明を！**



**問**／子宮頸がんワクチン接種は、過去に強い副反応が出た子どもがいたことから、約9年間にわたる差し控えられていたが、令和3年12月に積極的接種勧奨が再開した。その経緯と、市内での接種時における現在の副反応の状況はどうか。

**答**／国から最新の知見を踏まえたワクチンの安全性確保の通知があり、再開された。令和3年から令和4年7月末までに862人接種したが、強い副反応は出ていない。



**問**／子どもたち自身が知識を持てるように、学校で性教育の一貫として、助産師等から病気の話と予防できるワクチン接種について説明してほしいがどうか。また、保護者にも再開の経緯や現在の状況等を具体的に説明し、理解・納得してもらうことが重要と考えるがどうか。

**答**／保護者の理解は大事と考える。子どもたちへの説明は、今後助産師とも相談・検討していく。

**AEDによる救命率向上を目指して**

**問**／現在、市所管の243施設にAEDが設置されているが、建物内にあるため、夜間等に心停止した傷病者を救おうとしても、施設により約9割が使用できない。夜間や休日でも使えるように、設置場所の検討が必要では。



**答**／非常時には、夜間や休日においても、必ずAEDが使えるような対処方法を検討する。